

第9回 近畿の環境団体情報交流会

わくわくが社会を変える
「キラリ！環境系NPOフォーラム」
～私たちが目指す明日を見つめ*つくるために～

【報告書】

日 時：平成25年（2013）6月22日（土）

場 所：大阪大学 中之島センター

主 催：NPO法人エコネット近畿、一般財団法人セブン-イレブン記念財団

後 援：大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県、大阪市、きんき環境館

協 力：学校法人大阪コミュニケーションアート専門学校

企画・運営：近畿の環境団体情報交流会実行委員会

も く じ

ごあいさつ.....	1
も く じ.....	1
プログラム.....	2
団体発表時間割.....	3
発表団体・発表要旨.....	4
会場案内図.....	32

近畿の環境団体情報交流会

わくわく社会が変える「キラリ！環境系NPOフォーラム」
～私たちが目指す明日を見つめ*つくるために～

日時：平成25（2013）年6月22日（土）12:30～16:30

場所：大阪大学中之島センター（大阪府大阪市北区中之島3-4-53）

主催 NPO法人エコネット近畿、一般財団法人セブン-イレブン記念財団

後援 大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県、大阪市、きんき環境館

本日は、第9回近畿の環境団体情報交流会にご来場いただき、誠にありがとうございます。
本交流会は下記の内容で進行させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。

Time	プログラム
12:30～12:40	開会挨拶 仲津 英治 NPO法人エコネット近畿 理事長 主旨説明 総合コーディネーター 久 隆浩さん（近畿大学総合社会学部教授）
12:40～14:20	第1部 団体発表（全26団体） 分野に関係なく、興味関心をお持ちの発表をお聞きください。お部屋の移動もできます。 ①エネルギー 講義室304（前） ②がっこう 講義室302 ③地 域 講義室303 ④食と農 講義室201 ⑤くらし 講義室304（後）
14:20～14:40	（ 休 憩 / 資料収集 / 展示閲覧 ） 展示協力 The Re-Create Works' 中村恵子さん *団体応援投票の受付開始*
14:40～15:20	第2部 ワークショップ いずれか1分野を選び移動してください。 ①エネルギー 講義室304（前） ②がっこう 講義室302 ③地 域 講義室303 ④食と農 講義室201 ⑤くらし 講義室304（後）
15:20～15:25	休憩 / 移動 *団体応援投票の受付終了*
15:25～16:25	第3部 全体会 総合コーディネーター 久 隆浩さん（近畿大学総合社会学部教授）
16:25～16:30	投票結果発表 プレゼンター 米道 綱夫 NPO法人エコネット近畿理事 閉会挨拶 大林 輝 NPO法人エコネット近畿理事
17:00～19:00	懇親会（会場：中国料理×フレンチ「ONE WORLD」）

情報交流会・発表団体情報

	団体名	地域	連絡先
エネルギー	関西雨水市民の会	大阪	〒536-0011大阪市城東区放出西2丁目7番20号(株)ドリムテック 内 http://www.kansaiamamizu.com/ TEL:050-5520-3300 Fax:06-6964-2520
	認定NPO法人 きょうと グリーンファンド	京都	〒600-8191京都市下京区五条高倉角塚町21事務機のウエダビル206 http://www.kyoto-gf.org/ TEL:075-352-9150 E-mail:info@kyoto-gf.org
	株式会社 里山経済研究所	大阪	〒532-0013 大阪市淀川区木川西1-4-20 サンフォレスト1F http://www.satokei.co.jp/ TEL:06-4862-6314 Fax:06-4862-6341
	一般社団法人 Forward to 1985 energy life	大阪	〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷2-24-22-207 http://to1985.net/index.html TEL:048-940-2433
	NPO法人 ワット神戸	兵庫	〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町5丁目7番14号 オカダビル5F http://www.watt-kobe.jp/ TEL:078-222-8039 FAX:078-222-8039
がっこう	NPO法人 芦生自然学校	京都	〒601-0703京都府南丹市美山町芦生スケ尻14-2 http://www.ashiu.org/ TEL:0771-77-0588 FAX:0771-77-0584
	大阪大学 環境サークルGECS	大阪	〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-16 http://gecs.main.jp/index.html
	京都市立 北総合支援学校	京都	〒612-0847京都市上京区堀川通寺乃内上ル2丁目下天神町650-1 TEL:075-431-6636 FAX:075-414-1069
	NPO法人 地球デザインスクール	京都	〒626-0213京都府宮津市宇奥波見小屋の段108番地 http://e-ds.org/ TEL:0772-28-9018 FAX:0772-28-9025
	NPO法人ナック(NAC)	大阪	〒531-0075大阪府大阪市北区大淀南 1-9-16山彦ビル505 http://www.actland-yao.jp TEL:06-4256-7178 FAX:06-4256-7179
地域	NPO法人 尼崎21世紀の森	兵庫	〒660-0815 兵庫県尼崎市杭瀬北新町3-2-2大信ビル3F http://ama21mori.net/ TEL:050-3477-3337 ama21@bridge.ocn.ne.jp
	NPO法人 里山倶楽部	大阪	〒580-0012大阪府松原市立部1-6-3 http://www.satoyamaclub.org/ TEL:072-333-0309
	琴引浜の 鳴り砂を守る会	京都	〒629-3112 京丹後市網野町掛津1250番地 琴引浜鳴き砂文化館 http://www2.nkansai.ne.jp/org/sea-man/ TEL:0772-72-5511
	認定NPO法人 緑の地球ネットワーク (GEN)	大阪	〒552-0012 大阪市港区市岡1-4-24住宅情報ビル501号 http://homepage3.nifty.com/gentree/ TEL:06-6576-6181 FAX:06-6576-6182
	公益財団法人 天神崎の自然を 大切にする会	和歌山	〒646-0050和歌山県田辺市天神崎5-17 http://www.tenjinzaki.or.jp/ TEL:0739-25-5353 FAX:0739-25-5385

情報交流会・発表団体情報

活動内容
持続可能な社会をめざした市民共同発電所づくりと環境学習
木質バイオマスを中心とした、農山村のエネルギー資源の有効活用と利用機器の開発・普及。 木質資源の活用にかかわるコンサルティング事業。
家庭の省エネに関する情報提供(書籍の出版等)、家庭のエネルギー消費を分析し、適切な省エネ提案ができるシミュレーションプログラムの開発、暮らし省エネマイスター制度の運営、1985地域アドバイザー拠点の設立と教育など
中小企業による再生可能エネルギー分野での事業課支援、民生分野での省エネ診断活動の推進 イベントや学校等での環境教育活動
野外活動・環境教育全般 環境保全活動
ゴミ拾いや壁面緑化等の7つの班活動や、学祭でのフリマなど幅広い活動を行っています。 また、入学直後の1回生が中心となって企画、運営していく川清掃イベントも行っています。
自然のエネルギーを有効活用しての環境学習の取り組み(ソーラーパネル活用を中心に)
地球デザインスクールは、地球のデザインという様々な関わりに学び、自らの生き方を求め築きあう活動です。公園の指定管理を中心にしながら地域での活動も行っています。
自然体験、環境教育プログラムの企画。指定管理者として5つの野外活動施設を管理運営。 2つの野外活動施設に指導者の派遣。専門学校からの環境教育に関する授業受託
構想・現地を知ってもらうために、「うんぱく」「エコキッズメッセ」「まちあるき」「運河クルージング」「植栽」等実施
里山林の保全・育成、炭・薪の生産販売事業、森づくり安全技術講習、「里山キッズクラブ」「里山日和」「学校林づくり」など環境教育活動、薪炭林エネルギー化事業、「自然農場」「源流米パラダイス」など無農薬米・野菜の生産販売事業
国天然記念物及び名称に指定されている琴引浜と貴重な自然遺産である鳴き砂を保護する活動
中国の黄土高原で地元といっしょになって木を植えつづけている。 日本国内でも緑を守り、緑とともに生きるためにさまざまな活動に取り組む。
土地(山林)の取得、自然環境の維持、環境教育の推進、自然保護の啓蒙など

情報交流会・発表団体情報

	団体名	地域	連絡先
食 と 農	Café Slow大阪	大阪	〒532-0028大阪市淀川区十三元今里2-5-17
			http://www.cafeslow-osaka.com/
			TEL:06-7503-7392
	NPO法人 里山ねっと・あやべ	京都	〒623-0235京都府綾部市鍛冶屋町茅倉9番地
			http://www.satoyama.gr.jp/ TEL:0773-47-0040 FAX:0773-47-0084
NPO法人 食と農の研究所	兵庫	〒657-0831神戸市灘区水道筋3-4-7ダイヤビル3階 (株)都市文化研究所内)	
		http://www.agri-design.jp/machixmura/s_management.php	
NPOパーマカルチャー 関西	兵庫	〒651-1603神戸市北区淡河町淡河1448	
		http://pckansai.exblog.jp/ TEL:078-201-8567	
NPO法人ふれあいネット ひらかた	大阪	http://shokuiku-station.com/	
く ら し	NPO法人関西 ワンディッシュエイド協 会	奈良	〒630-0224奈良県生駒市萩の台3-10-1
			http://onedish.net/
			TEL:0743-77-0630
	公益財団法人公害地 域再生センター (あおぞら財団)	大阪	〒555-0013大阪市西淀川区千舟1丁目1番1号あおぞらビル4階
			http://aozora.or.jp/
			TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
NPO法人 古材文化の会	京都	〒605-0981京都府京都市東山区本町17-354	
		http://www.wood.jp/kbank/ TEL:075-532-2103 FAX:075-551-9811	
NPO法人ゴミンゴ ・ゴミ拾いネットワーク	大阪	〒594-0041大阪府和泉市いぶき野3-5-4-402	
		http://www.gomingo.jp/	
市民・生ゴミ リサイクルプロジェクト	滋賀	〒523-0031滋賀県近江八幡市堀上町2-6	
		(準備検討中) TEL:0748-36-8457 FAX:0748-36-8457	
Rびんプロジェクト	大阪	〒582-0016大阪府柏原市安堂町 5-5 「芽え屋」	
		http://www.kawachi.zaq.ne.jp/rbin-pj/	
展 示	The Re-Create Works'	兵庫	〒651-1321兵庫県神戸市北区有野台3丁目20-5
			http://nadakuminhall.net/modules/104/ TEL::078-982-2465

情報交流会・発表団体情報

活動内容
大阪・十三のスローな情報発信基地として活動する他、丹波の里山再生「森の夢プロジェクト」やハタケスクールへの参加を通して、カフェに関わる人々が土に触れるきっかけをつくる。
廃校(旧小学校)を活用した交流拠点施設「綾部市里山交流研修センター」の運営管理、体験プログラム(米・蕎麦などの農業体験、石窯パンやそば打ちなどの料理体験)、綾部里山交流大学などセミナー講座、竹林整備・古道復旧、地域資源の発掘と情報発信、ボランティア研修コーディネート(大学・企業)、農家民泊の仲介、定住促進、NPOのネットワーク形成など
都市と農村のネットワーク作り 食・農・環境の学習提供 情報発信・調査研究
パーマカルチャーの学びの場の提供(デザインコース、実習コースの講座運営)、生産・自給おーごにつくMy米づくり、建築実習
子どもが個性豊かにのびていくための知恵と五感を育むことを目的に事業展開しています。併せて、シニア世代の介護予防を目的とした食育料理教室やパソコン教室を行っています。
家庭で不要になった陶磁器のリユースリサイクル活動
廃油回収、高校と協力しての講演会の開催 小学生の廃油回収啓発ポスターコンクール開催 廃油キャンドルナイトの開催等
民家や町家の所有者の方への各種の相談活動、市民を対象として優れた建物やまち並などの見学会、建築技能を職人から実習で学ぶ体験講座の開催、京都市文化財マネージャー育成講座の開催(共催)
河川など水辺のゴミ拾い。
①2008年より生ごみリサイクルの啓発や実践の普及推進(毎月生ごみR学習会の開催) ②出前講座やイベント出展PR(自治会や小学校、行政関係、環境フェア等)
<環境教育>出前学習会・学校など、どこへでも伺っています。 <企業訪問>洗びん工場見学や製びん工業、飲料メーカー、流通・生協
「捨てない!生活術」 美しいごみの出し方は 美しい暮らし方 3Rよりも 2Rを!

第9回エコネット近畿情報交流会 時間割

12:00	受付開始					
12:30	開会挨拶(各室)					
12:40	各分野団体発表					
分野別 時間	エネルギー (304号室前部)	がっこう (環境教育) (302号室)	地域 (生物多様性) (303号室)	食と農 (201号室)	くらし (ゴミ・リサイクル) (304号室後部)	
12:40 ～ 12:55	雨水とともに 大西 正治 関西雨水市民の会	芦生自然学校の 活動紹介 岡 佑平 NPO法人芦生自然学校	ゼロから創る 環境のまちづくり 阿部 利雄 NPO法人 尼崎21世紀の森	参加型オーガニック カフェ ～知るきっかけの場づく り～ 赤澤 福彦 Café Slow Osaka	12:40 ～ 12:52	器が地球にできること (陶磁器の循環系社会を めざして) 樽井 雅美 NPO法人 関西ワンディッシュエイド協
13:00 ～ 13:15	地域で広げる 自然エネルギー みんなでつくろう! おひさま発電所 大西 啓子 認定NPO法人 きょうとグリーンファンド	環境活動 ×学生 ×〇〇 野村 秀成 大阪大学 環境サークルGECS	好きなことして、 そこそこ儲けて、 いい里山をつくる! 寺川 裕子 NPO法人里山倶楽部	小学校からみんなの学 校へ ～里山で暮らしと精神 の自給をめざして～ 朝倉 聡 NPO法人里山ねっと・あやべ	12:57 ～ 13:09	学校、町会、行政、企業 ～地域をつなげる 菜の花プロジェクト～ 小平 智子 公益財団法人公害地域再 生センター(あおぞら財団)
13:20 ～ 13:35	木質バイオマスで 電気を自給する方法 大塚 憲昭 株式会社 里山経済研究所	学校からはじめる グリーン ニューディール 茶木 正 京都市立北総合支援学校	鳴り砂を守る ～自然との共生～ 三浦 到 琴引浜の鳴り砂を守る会	まちとむらをつなぐ、 食・農・環境デザイン プロジェクト 山口 寛人 NPO法人食と農の研究所	13:14 ～ 13:26	歴史ある建物や 街並みを守るために 私たちは何をすべきか 白石 秀知 NPO法人古材文化の会
13:40 ～ 13:55	家庭の省エネから エネルギーのあり方を 変えていく取り組みにつ いて 野池 政宏 一般社団法人 Forward to 1985 energy	地球デザインスクール のとりくみ 市瀬 拓哉 NPO法人地球デザインスクール	天神崎の自然と 保全活動 玉井 済夫 公益財団法人天神崎の 自然を大切にす会	持続可能な 暮らしの提案 大東 義弘 NPOパーマカルチャー関西	13:31 ～ 13:43	河川のゴミの状況と 友ヶ島の状況 近藤 潤 NPO法人 ゴミシゴ・ゴミ拾いネットワー
14:00 ～ 14:15	ワット神戸の 太陽光発電所建設 について 泉 勇策 NPO法人ワット神戸	地域やニーズにあわせ た環境教育、自然体験 学習の取り組み 宮嶋 啓太 NPO法人ナック(NAC) 八尾市立大畑青少年野外 活動センター	中国で 木を植えつけて 20年 高見 邦雄 認定NPO法人 緑の地球ネットワーク (GEN)	安心安全な食材を 使った子供食育料理 教室と親子で体験する 農業 岩本 優祐・林 明子 NPO法人 ふれあいネットひらかた	13:48 ～ 14:00	ゴミの山を宝の山に! 大地の恵みは 大地に返す・・・ 「新・生ごみリサイクル」 吉田 栄治 市民・生ゴミ リサイクルプロジェクト
14:20～	休憩・資料収集・展示閲覧 (展示協力: The Re-Create Works' 中村恵子)					
14:40～	ワークショップ					
15:20～	会場移動(304号室へ移動)					
15:25～	全体会(304号室)					
16:25～	閉会挨拶					
16:30～	懇親会場へ移動					
17:00～	懇親会 (ONE WORLD)					

わくわくが社会を変える 「キラリ！環境系NPOフォーラム」 ～私たちが目指す明日を見つめ*つくるために～

近畿の環境団体の数は、ざっと1000。現在、近畿各地で活動している“旬”の環境団体27団体にお集まりいただき、活動テーマによって5分野にわかれてご発表いただいたほか、実行委員として運営に関わっていただき、当日のスタッフとしてもご協力いただきました。当日スタッフには学校法人大阪コミュニケーションアート専門学校の学生のみなさんもお協力くださり、ワークショップや全体会では活発なご発言をいただきました。また、参加者のみなさんには、関心のある分野やテーマの発表を部屋を移動しながら自由にお聞きいただくなど新しい試みも取り入れての開催となりました。



主旨説明

総合コーディネーター 久 隆浩氏
(近畿大学 総合社会学部 教授)

最初に、総合コーディネーターの久(ひさ)氏より、今回の情報交流会の主旨について、「交流会」の名のとおりできるだけ多くの方と交流をし情報を持ち帰る、共感を覚えた方との出会いや新しいつながりを創造する場としていただきたい旨、ご説明がありました。

発表内容についてお話を聞いていただいたり、自分の団体の活動についての意見交換は、休憩時間や懇親会の時間も有効につかい、半日を「わくわく」=共感の輪を広げる時間の共有に使いましょと結ばれました。



<エネルギー×わくわく>

■発表団体・発表者■

- 関西雨水市民の会……………大西正治氏
「雨水とともに」
- 認定NPO法人きょうとグリーンファンド……………大西啓子氏
「地域でひろげる自然エネルギー みんなでつくろうおひさま発電所」
- 株式会社里山経済研究所……………大塚憲昭氏
「木質バイオマスで電気を自給する方法」
- 一般社団法人Forward to 1985 energy life……………野池政宏氏
「家庭の省エネからエネルギーのあり方を変えていく取り組みについて」
- NPO法人ワット神戸……………泉 勇策氏
「ワット神戸の太陽光発電所建設について」

エネルギー × わくわく 発表風景



エネルギー分野 まとめ

NPO法人エコネット近畿 理事長 仲津 英治

参加者最大で24名であった。

まず、関西雨水市民の会が雨水(あまみず、と読むとのこと)、雨水利用の本格的実践例を紹介。飲食以外に雨水(あまみず)を使えば、相当省エネ・省資源に繋がるという趣旨。

次いで自然エネルギー関係で、まず森林資源による発電の実用化を目指し、一般農家が実践できるコンパクトな外燃機関を利用した発電の試みの紹介であった。

他3団体は太陽光発電と家庭内の省エネ・省資源に関わるものであった。保育園の屋根上などの共同発電所の仕組みは集団討議の中でも関心を集めた。NEDOなどの公的支援をベースに、個人の寄付あるいは出資による資金を加え、発電所を設置、売電そして配当して行く流れとなる。かなり軌道に乗っているようであるが、課題はNPO法人がかなり長期間責任を果たせる組織として存在し、専任のスタッフが必要という点である。

■ 発表要旨 ■

「雨水とともに」

関西雨水市民の会 大西正治さん

あまみず[®]、日常何気なく接しているこの存在が、時には洪水、時には水不足といった災害につながり、また植物の活きる糧、緊急防火用水といった資源利用の側面も有しています。

「地域で広げる自然エネルギーみんなでつくろう！おひさま発電所」

認定NPO法人きょうとグリーンファンド 大西啓子

きょうとグリーンファンドでは、2000年から地域の保育園や幼稚園などに市民共同で太陽光発電所を設置し、そこでの環境学習も継続しています。

発表では、既設16ヶ所の市民共同発電所と、きょうとグリーンファンドの寄附金を軸にした現在の資金計画と広げ方、環境学習の内容などについてお話しします。

「木質バイオマスで電気を自給する方法」

株式会社里山経済研究所 大塚憲昭

平成23年の東日本大震災以降、ライフラインに頼らないエネルギーの自給や地域でのエネルギー地産地消への取り組みが広がっています。そのようなニーズと、国内の木質資源の有効活用への対応に、木のエネルギー活用が注目されています。

ここでは、発表者がこれまで8年余り取り組んできた、木質ボイラとスターリングエンジンの組み合わせによる湯と電気を同時に生産するシステムの現状と、それ以外の発電方法についての最新情報を報告します。

「家庭の省エネからエネルギーのあり方を変えていく取り組みについて」

一般財団法人Forward to 1985 energy life 野池政宏

福島原発事故を契機に、2030年頃までに全国の家庭の電力消費量とエネルギー消費量を半分にすることを目標とし、具体的で楽しい情報やツールを提供しながら、全国にアドバイザー拠点を設けて、目標達成に向かう取り組みを行っています。この取り組みの全体と具体がわかる発表を行います。

「ワット神戸の太陽光発電所建設について」

NPO法人ワット神戸 泉勇策

これまで、エネルギー問題は「国」の視点から議論され、政策がつくられてきましたが、再生可能エネルギーの普及や省エネの推進という課題は、「地域」という生活者の視点が不可欠になるようとしています。10年間にわたって、ワット神戸が行ってきた太陽光発電建設の支援という立場から「太陽光発電所の建設」に踏み込んだ経緯と経験をご紹介します。自らがエネルギーの主役になっていくことの大事さを考えます。

<がっこう×わくわく>

■発表団体・発表者■

- NPO法人芦生自然学校.....岡 佑平氏
「芦生自然学校の活動紹介」
- 大阪大学環境サークルGECS.....野村秀成氏
「環境活動×学生×○○」
- 京都市立北総合支援学校.....茶木 正氏
「学校からはじめるグリーンニューディール」
- NPO法人地球デザインスクール.....市瀬拓哉氏
「地球デザインスクールのとりくみ」
- NPO法人ナック(NAC).....宮嶋啓太氏
「地域やニーズにあわせた環境教育、自然体験学習の取り組み」



がっこう分野 まとめ

NPO法人エコネット近畿 理事 米道 綱夫

団体発表ではそれぞれの団体が団体の活動内容を約5分で発表し、そのあと活動の詳細や特徴などの発表があった。NPO芦生自然学校では自然環境を利用した里山体験や宿泊型のアクティビティに人気があった。大阪大学環境サークルでは身の回りの環境問題に取り組み、学食のゴミ軽減をする様々な取りくみや、容器に紙を使う紙の弁当箱の実用化にも積極的に取り組んでいる。京都市立総合支援学校では薪ストーブを導入し、生徒たちが間伐材をナタでストーブに入るサイズに切る作業を通して森林の活用を学んだ。NPO法人地球デザインスクールは京都の天橋立に近いところに宿泊施設を伴った自然環境の学校を運営している。環境問題を野外の施設を使い、またスクール内での映像を通して楽しく学べるようにしている。NPO法人ナックは指定管理者である。大阪の八尾に宿泊施設をもち、環境活動実践の場としている。学校教育、生涯教育の様々な場面に対応できるノウハウをもち、様々なプログラムを展開し、利用者数はここ5年間で右肩上がりである。全てにわたって時間が足りなかった。もう5分ぐらいの時間があればいい。また質問はワークショップでするようにと提案や質問の時間を少し抑えた。

■ 発表要旨 ■

「芦生自然学校の活動紹介」

NPO法人芦生自然学校 岡 佑平

芦生自然学校は、京都府南丹市美山町を拠点に様々な環境教育活動を行っています。スタッフ・理事の全員が美山町に住居を置き、日々農的な暮らしを実践しながら日常を過ごしています。地域に密着し、地域の文化や遊びを活動に取り入れここでしか出来ないプログラムを提供しています。また団体名でもある芦生という集落は、美山町の最奥に位置し、由良川の最上流域でもあります。京都大学の研究林にもなっている芦生原生林の豊かな自然をいかしたプログラムも魅力の一つです。今回は、そんなここ美山町の暮らしを生かしたプログラムや、芦生の自然を守り活かした取組を紹介したいと思います。また、近年、地域の宿泊施設などと手を取り合い進めている、教育旅行の受け入れについても紹介したいと思います。

「環境活動×学生×〇〇」

大阪大学環境サークルGECS 野村秀成

私たちGECSは、「『学生』という立場から環境問題の改善に貢献する」という理念のもと日々活動しています。また、その中で、「成果」「仲間」「信頼」という3つの価値観を大切にしています。この理念と価値観を根本に置きながら、7つの班活動を中心とした様々な環境活動に取り組んでいます。『学生』という立場だからこそこできる環境問題に対するアプローチ方法によって、『学生』という限られた時間の中で本当に意義のある活動をしていくことができると考えています。

「学校からはじめるグリーンニューディール」

京都市立北総合支援学校 茶木 正

屋上に自分たちで大型ソーラーパネルを設置、夏は扇風機で涼をとり、冬はサーキュレーターで活用。庭に設置したパネルではグリーンカーテンに自動散水に活用。休日が炎天下でも大丈夫。冬場は、窓際での水耕栽培に活用。

「地球デザインスクールのとりくみ」

NPO法人地球デザインスクール 市瀬拓哉

京都府立丹後海と星の見える丘公園を主なフィールドに展開している環境学習プログラムを紹介します。「海ガキ・山ガキになろう！」「うみほしクラブ」「どんぐりようちえん」「ユニバーサルキャンプ」自然の中で五感をフル活用、そして仲間と一緒に笑ったり、時にはけんかも…。これらの取り組みの素材となるのは「森から学ぶ」「土から学ぶ」「火から学ぶ」「京都自然塾」などのプログラム。ライブで繰り広げるプログラムは毎日が新鮮、毎回新しい発見があります。

「地域やニーズにあわせた環境教育、自然体験学習の取り組み」

NPO法人ナック(NAC) 宮嶋啓太

すごい！こういうプログラムをもっと早く体験させたかった！(担任の先生)
「めっちゃ楽しい～！こんな授業やったら毎日受けたいわ！」(受講した学生)
担任の先生は何に困っているのか、何を欲しているのか、また、どんな内容だったら「やりたい！」と実現してもらえやすいのか。そして学生達が求めていることは何なのか？
環境問題を教える専門学校の講師として、約10年間実施してきた秘訣やその取組を紹介しします

<地 域×わくわく>

■発表団体・発表者■

- NPO法人尼崎21世紀の森……………阿部利雄氏
「ゼロから創る環境のまちづくり」
- NPO法人里山倶楽部……………寺川裕子氏
「好きなことして、そこそこ儲けて、いい里山をつくる！」
- 琴引浜の鳴り砂を守る会……………三浦 到氏
「鳴り砂を守る～自然との共生～」
- 公益財団法人天神崎の自然を大切にする会……………玉井濟夫氏
「天神崎の自然と保全活動」
- 認定NPO法人緑の地球ネットワーク……………高見邦雄氏
「中国で木を植えつづけて20年」



地 域

生物多様性や自然保護に
取り組む団体の発表



◀各団体の広報物

・左上から 右へ
NPO法人里山倶楽部
「チャリティーネット森が好き！」寄付カタログ
NPO法人尼崎21世紀の森
広報誌「Aa」

・左下から右へ
公益財団法人天神崎の自然を大切にする会
琴引き浜の鳴り砂を守る会
認定NPO法人緑の地球ネットワーク(GEN)

■ 発表要旨 ■

「ゼロからつくるまちづくり」

NPO法人尼崎21世紀の森 阿部利雄

阪神工業地帯の中核であった、尼崎市の臨海地域の自然をよみがえらせ、緑あふれ、活力あるまちに再生する「環境共生型のまちづくり」を進めています。対象エリアは国道43号線の南1000haで、森と水と人が共生し、企業の活性化も狙いつつ、生物多様性に富むまちを目指した、100年かけてのプロジェクトで、市民・企業・各種団体・行政が一体となって取り組んでいます。ゼロからスタートして10年、ここまでの成果を、発表するとともに、今後の方向について、触れていきます。

「好きなことして、そこそこ儲けて、いい里山をつくる」

NPO法人里山倶楽部 寺川裕子

里山倶楽部は、市民参加型の里山保全では草分け的なNPOで、1989年から活動をはじめます。主な活動地は大阪府の南河内地域で、雑木林の再生や人工林の間伐、棚田の管理などの里山保全活動のほか、里山についての環境教育や人材養成、里山の循環システムづくりに関する事業などを行っています。各事業のさまざまな場面で「いかに里山でかせぐか」にチャレンジしています。昨年はファンドレイジングの新しい試みとして、府内22箇所の森づくりを掲載した寄付カタログ「チャリティネット森が好き！」を発行し、より広い層の方々に寄付をつうじた森づくりを呼びかけています。

「鳴り砂を守る～自然との共生～」

琴引浜の鳴り砂を守る会 三浦 到

本会は1987年に設立以来、貴重な自然遺産である鳴き砂を守るため、様々な活動を行ってきた。浜辺を守る運動としては清掃活動(ゴミ拾い)が一般的であるが、琴引浜では長年にわたる経過の中で、浜の清掃は守る会の手を離れ自治区が日常的に実施している。

本日は、琴引浜の特徴である鳴き砂を保護するために、全国でも初めてとなった禁煙ビーチの取組について報告する。

キーワード:タバコと鳴き砂・東山高校地学部の漂着物調査・立命館大学生による観光客アンケート調査・守る会独自の取組とその限界・行政による条例の制定・京都弁護士会と龍谷大学による条例研究・条例前と条例後の浜の状況

「天神崎の自然と保全活動」

公益財団法人天神崎の自然を大切にする会 玉井済夫

田辺市天神崎の海岸林をナショナル・トラスト運動により取得を続け、海岸林と磯の自然を保全し、環境教育の場としている。

この保全活動は、1974年(昭和49年)にはじまり、今年で40年目となるが、多くの人々の温かいご支援により、何とかここまでくることができた。天神崎の自然を紹介しながら現在の活動について発表します。

「中国で木を植えつづけて20年」

NPO法人緑の地球ネットワーク(GEN) 高見邦雄

緑の地球ネットワークは、中国山西省大同市の農村で、1992年から緑化協力を継続しています。

①黄土丘陵や山の上部にグリーンベルトをつくり、雨による土壌浸食や風砂の防止に役立っています。植えるのは主にマツで、グミ科やマメ科の灌木を混植します。②小学校付属果樹園を建設し、主にアンズを植えます。収入があがるようになるとその一部を農村の教育支援にあてます。③日本の専門家の参加と協力のもとに、育苗や栽植の技術改善、人材の育成など、ソフト面の協力を強化してきました。④それらをお互いに顔のみえる形ですすめるため、ボランティアツアーを派遣してきました。これまでに延べ3500人が地元の人たちといっしょに汗を流してきました。

■ 発表要旨 ■

「ゼロからつくるまちづくり」

NPO法人尼崎21世紀の森 阿部利雄

阪神工業地帯の中核であった、尼崎市の臨海地域の自然をよみがえらせ、緑あふれ、活力あるまちに再生する「環境共生型のまちづくり」を進めています。対象エリアは国道43号線の南1000haで、森と水と人が共生し、企業の活性化も狙いつつ、生物多様性に富むまちを目指した、100年かけてのプロジェクトで、市民・企業・各種団体・行政が一体となって取り組んでいます。ゼロからスタートして10年、ここまでの成果を、発表するとともに、今後の方向について、触れていきます。

「好きなことして、そこそこ儲けて、いい里山をつくる」

NPO法人里山倶楽部 寺川裕子

里山倶楽部は、市民参加型の里山保全では草分け的なNPOで、1989年から活動をはじめています。主な活動地は大阪府の南河内地域で、雑木林の再生や人工林の間伐、棚田の管理などの里山保全活動のほか、里山についての環境教育や人材養成、里山の循環システムづくりに関する事業などを行っています。各事業のさまざまな場面で「いかに里山でかせぐか」にチャレンジしています。昨年はファンドレイジングの新しい試みとして、府内22箇所の森づくりを掲載した寄付カタログ「チャリティネット森が好き！」を発行し、より広い層の方々に寄付をつうじた森づくりを呼びかけています。

「鳴り砂を守る～自然との共生～」

琴引浜の鳴り砂を守る会 三浦 到

本会は1987年に設立以来、貴重な自然遺産である鳴き砂を守るため、様々な活動を行ってきた。浜辺を守る運動としては清掃活動(ゴミ拾い)が一般的であるが、琴引浜では長年にわたる経過の中で、浜の清掃は守る会の手を離れ自治区が日常的に実施している。

本日は、琴引浜の特徴である鳴き砂を保護するために、全国でも初めてとなった禁煙ビーチの取組について報告する。

キーワード:タバコと鳴き砂・東山高校地学部の漂着物調査・立命館大学生による観光客アンケート調査・守る会独自の取組とその限界・行政による条例の制定・京都弁護士会と龍谷大学による条例研究・条例前と条例後の浜の状況

「天神崎の自然と保全活動」

公益財団法人天神崎の自然を大切にする会 玉井済夫

田辺市天神崎の海岸林をナショナル・トラスト運動により取得を続け、海岸林と磯の自然を保全し、環境教育の場としている。

この保全活動は、1974年(昭和49年)にはじまり、今年で40年目となるが、多くの人々の温かいご支援により、何とかここまでくることができた。天神崎の自然を紹介しながら現在の活動について発表します。

「中国で木を植えつづけて20年」

NPO法人緑の地球ネットワーク(GEN) 高見邦雄

緑の地球ネットワークは、中国山西省大同市の農村で、1992年から緑化協力を継続しています。

①黄土丘陵や山の上部にグリーンベルトをつくり、雨による土壌浸食や風砂の防止に役立ちます。植えるのは主にマツで、グミ科やマメ科の灌木を混植します。②小学校付属果樹園を建設し、主にアンズを植えます。収入があがるようになるとその一部を農村の教育支援にあてます。③日本の専門家の参加と協力のもとに、育苗や栽植の技術改善、人材の育成など、ソフト面の協力を強化してきました。④それらをお互いに顔のみえる形ですすめるため、ボランティアツアーを派遣してきました。これまでに延べ3500人が地元の人たちといっしょに汗を流してきました。

<食 と 農×わくわく>

■発表団体・発表者■

- Café Slow Osaka 赤澤福彦氏
「参加型オーガニックカフェ～知るきっかけの場づくり～」
- NPO法人里山ねっと・あやべ 朝倉 聡氏
「小学校からみんなの学校へ～里山で暮らしと精神の自給をめざして～」
- NPO法人食と農の研究所 山口寛人氏
「まちとむらをつなぐ、食・農・環境デザインプロジェクト」
- NPO法人パーマカルチャー関西 大東義弘氏
「持続可能な暮らしの提案」
- NPO法人ふれあいネットひらかた 岩本優祐氏、林明子氏
「安心安全な食材を使った子供食育料理教室と親子で体験する農業」



■ 発表要旨 ■

「参加型オーガニックカフェ～知るきっかけの場づくり～」

Café Slow Osaka 赤澤福彦

参加型のカフェとして運営してきたカフェスロー大阪の活動内容。コミュニティスペースを利用したイベント企画、カフェから外へ飛び出した課外活動で多角的に行う知るきっかけの場づくりと、食・農に関心をもってもらうためのポイントについて。

「小学校からみんなの学校へ～里山で暮らしと精神の自給をめざして～」

NPO法人里山ねっと・あやべ 朝倉 聡

なつかしい出会いが生まれるまち「綾部」は、生き方を見つめなおし、新しいきっかけをつかむ場として最適。宿泊できる廃校施設「綾部市里山交流研修センター」を拠点とし、農業体験などにより地に足のついた暮らしに触れる機会を提供し、合宿型の講座「綾部里山交流大学」により最先端の思索空間をつくります。今後は里山の再生など地域の課題解決のため大学や企業のボランティアの力を地域に投入していきます。偶然のようでありながら必然だった、そんな出会いが生まれる場をコーディネートします。

「まちとむらをつなぐ、食・農・環境デザインプロジェクト」

NPO法人食と農の研究所 山口 寛人

まちとむらをつなぐ都市農村交流、情報発信の拠点となるアンテナショップの運営、都市型野菜マルシェの開催、環境保全農業の推進、食育や環境教育イベントの実施、特産品や農産物の商品開発など、新しい食と農のかたちの発表を行います。

「持続可能な暮らしの提案」

NPO法人パーマカルチャー関西 大東 義弘

パーマカルチャーとは何かを簡単にお伝えし、現在の団体の活動状況、受講生を含めパーマカルチャーを学んだ人々の活動などを紹介します。

「安心安全な食材を使った子供食育料理教室と親子で体験する農業」

NPO法人ふれあいネットひらかた 岩本優祐、林明子

食教育を活動の柱に、有機野菜を扱う企業様と共催で、「生きる力」を養うことを目的とした子供料理教室をやっています。安心安全な食材で調理を行い、次の世代に伝えたい和食や食べ物の働きを、調理という体験をしながら学んでいます。しかし、美味しくいただくだけでは何かが欠けています。そこで、食教育の導入部分である「作って育てる」を目的に、親子で参加する農業体験教室を行いました。作物のできる過程や収穫、収穫したものを自分たちで販売することで、苦労や喜びを経験しました。このような体験・経験を通して「生きる＝食」の大切さを、子供達により深く理解させることができたと思います。

< < ら し×わくわく >

■発表団体・発表者■

- NPO法人関西ワンディッシュエイド協会……………樽井雅美氏
「器が地球にできること(陶磁器の循環系社会をめざして)」
- 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)……………小平智子氏
「学校、町会、行政、企業～地域をつなげる菜の花プロジェクト」
- NPO法人古材文化の会……………白石秀知氏
「歴史ある建物や街並みを守るために私たちは谷をすべきか」
- NPO法人ゴミゴ・ゴミ拾いネットワーク……………近藤 潤氏
「河川ゴミの状況と友ヶ島の状況」
- 市民・生ゴミリサイクルプロジェクト……………吉田栄治氏
「ごみの山を宝の山に！大地の恵みは大地に返す…新・生ごみリサイクル」
- Rびんプロジェクト……………西村優子氏
「教科書調査からみる3R教育と市民啓発」



くらし分野について

NPO法人エコネット近畿 山本 光二

6団体各々が12分という限られた時間の中で、時間配分に苦慮しつつも団体の特徴やセールスポイントをうまくまとめられ、我々のくらしの中における自らの団体の役割など、リスナーに解りやすく興味深い内容として話され、質問やアドバイスも活発に行われた。(情報交流会の狙いが達成されていた)受付で配布された資料は、各団体の紹介が要領よくまとめられていたので、自己紹介など手間取る事もなく進化した。

事例の発表において、全体に共通する点を紹介する。

1. 行政とNPOの連携が緊密に行なわれ、互いにその良さを生かし、不足部分を保管し合う内容が多く紹介された。

1. 事業の発展には、社会のニーズとの整合性が大切であり、マッチした時は想像を超える反響があった。

<ワークショップについて>

団体発表を踏まえ、よりポイントを押さえた内容で自己紹介が始まり、質問も発表の内容をよく理解され、何を聞きたいのか、何を聞かせたいのかと言う相互のQ&Aのやりとりも多彩で、情報交流・交換という観点で非常に成果の多いものであった。

■ 発表要旨 ■

「器が地球にできること(陶磁器の循環系社会をめざして)」

NPO法人関西ワンディッシュエイド協会 樽井雅美

いらない人からいる人へ・・・つなげる場を作るだけでごみ減量が実現します。

ほとんどの自治体で「燃えないゴミ」として回収された後最終処分場へ埋め立てられている陶磁器を集めて必要な人にもらってもらった活動が地域に広がり行政との協働事業となったため100t以上のごみ減量が実現しました。

「もったいない陶器市」はごみ減量だけでなく地域のコミュニティーの場となっています。楽しく市民がかかわりごみ減量をしています。

「学校、町会、行政、企業～地域をつなげる菜の花プロジェクト～」

公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団) 小平智子

西淀川菜の花プロジェクトのとrikumiは、環境省のESDモデルになったことがきっかけで地域でとrikumiはじめた経緯もあり、環境教育や人のつながりを大切に、市民の賛同を得て拡げてきました。現在、廃油回収所は50箇所以上、回収量は6000ℓ(2013年度)にのぼります。NPO、企業、学校、町会、それぞれが連携しての活動をご報告します。

「歴史ある建物や街並みを守るために私たちは何をすべきか」

NPO法人古材文化の会 白石秀和

古材文化の会が取り組んできた活動及び、近年、歴史ある建物を評価する人材養成(ヘリテージマネージャー養成)の取組について紹介し、歴史ある建物や町並みを守るために私たちは何をなすべきかについて問題提起を行う。

「河川」ゴミの状況と友ヶ島の状況」

NPO法人ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク 近藤潤

京阪神奈の河川を介して、多くのゴミが大阪湾に流れ込んでいます。様々な川でのゴミの現状を説明した後、友ヶ島でのゴミの状況や、私たちの活動のご紹介をさせていただきます。

大量のゴミが太平洋へと流出するのを最後に食い止めている島が和歌山県友ヶ島です。友ヶ島は紀伊水道に浮かぶ東西に扁平した島で、大阪湾に面している北側のゴミが太平洋側より非常に多くなっています。4月に行った「第7回みんなで島のゴミ拾い！」の様子などを皆様にご紹介いただけたらと思っています。

■ 発表要旨 ■

「ゴミの山を宝の山に！大地の恵みは大地に返す・・・『新・生ゴミリサイクル』」
市民・生ゴミリサイクルプロジェクト 吉田栄治

(1)もったいない！...地球温暖化と生ごみリサイクル

- ①現状、水分が80%の燃えない生ごみを、重油等の化石燃料を使い多額費用をかけ燃やしている。
- ②CO2排出が約1/100に削減！（たい肥化：可燃処理＝1：100）。
- ③付加価値を生まない手法や処理物には、余り費用を掛けない。（付加価値を生まないやり方の革新）。

(2)低炭素・低コストの「生ごみたい肥化」の実践！

- ①自己循環のおすすめ...自宅の生ごみリサイクル(たい肥化)の普及。
- ②低炭素・低コストの古段ボール箱等を利用したカンタン・生ごみたい肥化のやり方。

(3)大地の恵みは大地に返す...特に生ごみは大地に返す事が大事(自然の摂理)

- ①生ごみ堆肥の利用効果...バランス良い肥料成分、有機質で土壌改良(良い土壌は良い作物が可)
- ②「安全・安心」な作物の確保...ビタミンC、糖度が多く、鮮度が長持ちし美味しく身体にも良い。

「教科書調査からみる3R教育と市民啓発」
Rびんプロジェクト 西村優子

<展示協力×わくわく>

■ 展示発表団体・発表者 ■

「『ゴミ』なんて呼ばせない！♡愛をこめて 素敵なものに！！」
The Re-Create Works 中村恵子

通常はごみとして排出されている品々をマテリアル資源としてとらえることで アップサイクルな作品を作っています。

ごみの再生産とならないように暮らしを楽しく モノの命を大切にできる様な作品づくりを心掛けています。

ごみだと思っていた品々のLCAやエコロジカル・フットプリントを思い浮かべて 限りある資源に思いを馳せて頂けると嬉しいです。

・ポスト・コンシューマーの品を使った アップサイクル作品各種



靴下で縫いぐるみ

PPバンドのバック



Save The PLANET
世界のエコマーク

わくわくが社会を変える「キラリ！環境系NPOフォーラム」

～私たちが目指す明日を見つめ*つくるために～

団体応援寄付投票について

第9回 近畿の環境団体情報交流会 でのもう一つの新しい試みとして、団体応援寄付投票を実施いたしました。

これは参加者のみなさんが各分野の発表をお聞きになり、「この団体の活動が素晴らしい」「発表内容に共感できた」とおもわれた団体に1票を投票し、その投票数に応じて参加者のみなさまから頂戴した参加費から100円×投票数を団体応援のために寄付をさせていただくものです。共感を多くの人の支援＝寄付に変えるチャレンジに、53名のご賛同を得て総額5300円を寄付として使わせて頂きました。ありがとうございました。寄附金は、投票用紙に記された各団体へのあたたかなメッセージとともにお届けいたしました。

団体応援寄付投票結果

投票数 53票 / 参加者 73名 寄付総額 5300円

第1位 9票 「NPO法人里山倶楽部」

第2位 5票 「認定NPO法人きょうとグリーンファンド」

第3位 3票 「株式会社里山経済研究所」「NPOパーマカルチャー関西」

「NPO法人尼崎21世紀の森」「NPO法人関西ワンディッシュエイド協会」


「公益財団法人天神崎の自然を大切にする会」

団体応援寄付投票結果発表



第9回 近畿の環境団体情報交流会

キラリ！環境系 NPO フォーラム投票用紙

あなたの一票は、

応援団体への 100 円寄付となります！

(裏面の団体リストからご応援いただく団体に「✓」を付け下さい。一団体のみです)。

あなたのお名前・ご連絡先をご記入ください。

氏 名	
住 所	
電 話	
メールアドレス	

応援団体へのメッセージをご記入ください。

--

第9回 近畿の環境団体情報交流会
 わくわくが社会を変える キラリ！環境系NPOフォーラム
 ～私たちが目指す明日を見つめ*つくるために～わくわくの素(情報交流会 発表団体)

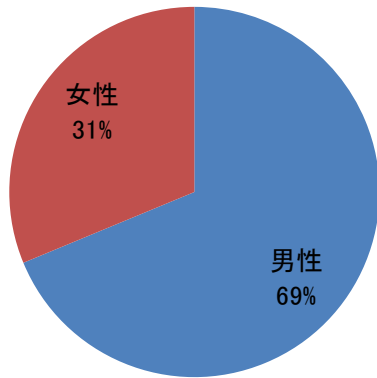
- | | | |
|------------|--------------------------|---|
| エネルギー×わくわく | <input type="checkbox"/> | 関西雨水市民の会
★「雨水とともに」 |
| | <input type="checkbox"/> | 認定NPO法人きょうとグリーンファンド
★「地域で広げる自然エネルギー みんなでつくろう！ おひさま発電所」 |
| | <input type="checkbox"/> | 株式会社里山経済研究所
★「木質バイオマスで電気を自給する方法」 |
| | <input type="checkbox"/> | 一般社団法人Forward to 1985 energy life
★「家庭の省エネからエネルギーのあり方を変えていく取り組みについて」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人ワット神戸
★「ワット神戸の太陽光発電所建設について」 |
| がっこう×わくわく | <input type="checkbox"/> | NPO法人芦生自然学校
★「芦生自然学校の活動紹介」 |
| | <input type="checkbox"/> | 大阪大学環境サークルGECS
★「環境活動×学生×〇〇」 |
| | <input type="checkbox"/> | 京都市立北総合支援学校
★「学校からはじめるグリーンニューディール」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人地球デザインスクール
★「地球デザインスクールのとりくみ」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人ナック (NAC) /八尾市立大畑青少年野外活動センター
★「地域やニーズにあわせた環境教育、自然体験学習の取り組み」 |
| 地域×わくわく | <input type="checkbox"/> | NPO法人尼崎21世紀の森
★「ゼロから創る環境のまちづくり」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人里山倶楽部
★「好きなことして、そこそこ儲けて、いい里山をつくる！」 |
| | <input type="checkbox"/> | 琴引浜の鳴り砂を守る会
★「鳴り砂を守る～自然との共生～」 |
| | <input type="checkbox"/> | 公益財団法人天神崎の自然を大切にする会
★「天神崎の自然と保全活動」 |
| | <input type="checkbox"/> | 認定NPO法人緑の地球ネットワーク (GEN)
★「中国で木を植えつづけて20年」 |
| 食と農×わくわく | <input type="checkbox"/> | Café Slow Osaka
★「参加型オーガニックカフェ～知るきっかけの場づくり～」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人里山ねっと・あやべ
★「小学校からみんなの学校へ～里山で暮らしと精神の自給をめざして」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人食と農の研究所
★「まちとむらをつなぐ、食・農・環境デザインプロジェクト」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPOパーマカルチャー関西
★「持続可能な暮らしの提案」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人ふれあいネットひらかた
★「安心安全な食材を使った子供食育料理教室と親子で体験する農業」 |
| くらし×わくわく | <input type="checkbox"/> | NPO法人関西ワンディッシュエイド協会
★「器が地球にできること(陶磁器の循環系社会をめざして)」 |
| | <input type="checkbox"/> | 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
★「学校、町会、行政、企業～地域をつなげる菜の花プロジェクト」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人古材文化の会
★「歴史ある建物や街並みを守るために私たちは何をすべきか」 |
| | <input type="checkbox"/> | NPO法人ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク
★「河川のゴミの状況と友ヶ島の状況」 |
| | <input type="checkbox"/> | 市民・生ゴミリサイクルプロジェクト
★「ごみの山を宝の山に！大地の恵みは大地に返す…「新・生ごみリサイクル」 |
| 展示 | <input type="checkbox"/> | Rビンプロジェクト
★「教科書調査から見る3R教育と市民啓発」 |
| | <input type="checkbox"/> | The Re-Create Works'(リ・クリエイトワークス)
★「ゴミ」なんて呼ばせない！♡愛をこめて 素敵なものに！！ |
| | <input type="checkbox"/> | 近畿の環境団体情報交流会 実行委員会
★発表団体27団体+エコネット近畿で今回の情報交流会を企画・運営いたしました |

参加者情報

アンケート回答数: 16

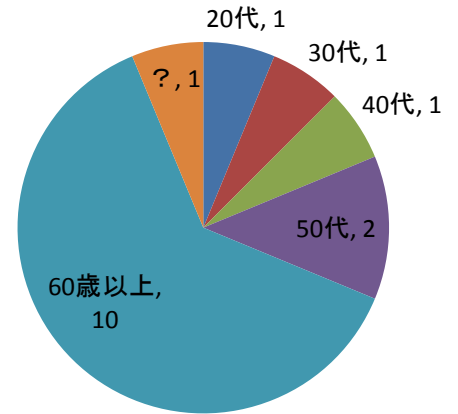
1. 性別

男性	11
女性	5



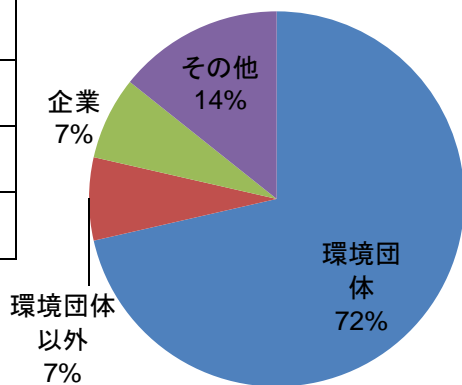
2. 年齢

20代	1
30代	1
40代	1
50代	2
60歳以上	10
?	1



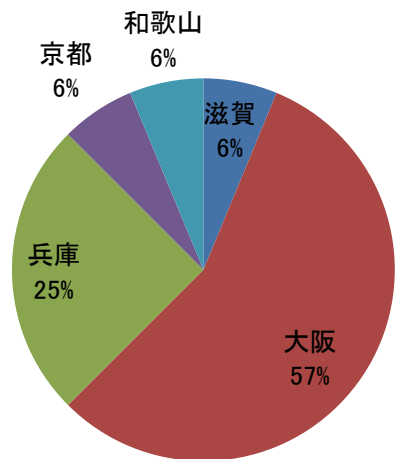
3. 所属

環境団体	10
環境団体以外	1
行政	0
企業	3
その他	2



4. 本日はどちらからいらっしゃいましたか？

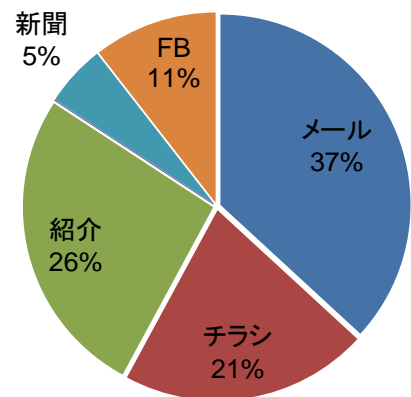
大阪	9
兵庫	4
京都	1
滋賀	1
和歌山	1



5. このイベントを何で知りましたか？

メール	6
チラシ	4
紹介	5
FB	2
HP	1
新聞	1

- メール: エコネット近畿(4)、サークル(1)
- チラシをもらった場所: 阪神南県民局、(公社)大阪自然環境保全協会
- 紹介: 友人から、NPOから
- FBページ: エコネット近畿
- 新聞: 毎日新聞



団体発表について

発表団体 26団体が活動テーマによって下記の5分野にわかれ、15分間発表
エネルギー、がっこう(環境教育)、地域(生物多様性)、食と農、くらし(ゴミ、リサイクル)の5分野
回答数:15

団体発表について

「大変素晴らしかった」…2名、「よかった」…12名、「ふつう」…1名でした。

- 皆さま方 夫々の視点、思いを持ち活躍されているんだと感服しました。
- 短時間での発表だったので不十分な点もあったが、良くまとまった内容で良かったと思う。
- 色んな取り組みをされているのが刺激になりました。
- 我々の日常の生活の向上を見定めた活動の多くの活動のある中、進展していくことを願う。
- パネル展示もあればよかったのではないかな。
- 団体の発表を依頼されて参加した。発表時間が短くて残念だった。
- 様々な活動発表を聞くことができ大変参考になりました。
- 発表はみな参考にさせて頂けるものでよかったです。
 しかし、部屋を二分割していたので落ち着いて聞くことができず残念だった。
- どの団体様も熱意を持って活動されていて、大変刺激になりました。
 できることから始めようというお気持ちに賛同します。
- 聞きたいテーマについては少々短かった。
- 短い時間でしたので、各団体さんがされていることがコンパクトに整理されていて、分かりやすかったと思います。ただもう少し時間があつたら…とも思いました。

ワークショップについて

4人一組になり、団体発表を聞いての振り返りを共有・意見交換を行いました。

回答数:13

どのワークショップに参加しましたか？

「エネルギー」…5名、「がっこう」…2名、「地域」…1名、「食と農」…2名、「くらし」…3名でした。

ワークショップについて

「大変素晴らしかった」…11名、「よかった」…12名、「ふつう」…5名 無記入…1でした。

- 各グループの活動取り組みが私たちが行っていこうとしていくものの参考となるものでした。
- 余りにも具体的過ぎて、参加者の個人的な興味や意見の交流になってしまっているようで、少し物足りなかった。
- 芦生で活動されている岡さんの猟師についてのお話が興味深かったです。(里山の文化と通じている)
- いろいろと行われているサークル活動の中のエネルギーは欠かせない
- 当協会をPRするとともに、他の団体の活動内容を聞くことができた。時間がもうすこしあればよかった。
- お話の途中で時間となり残念です。
- 具体的な取り組みについて質問ができて良かった。器のリユース市など。
- 知り合いができて良かった。
- エネルギーは全体で一つの円になって行つたが、分けてもよかったかなと思った。

全体会について

発表団体もふくめ参加者全員で小グループに分かれ、感想の共有や意見交換をしました。
 総合コーディネーター:久(ひさ)隆浩氏(近畿大学 総合社会学部 教授)

回答数:11

全体会について

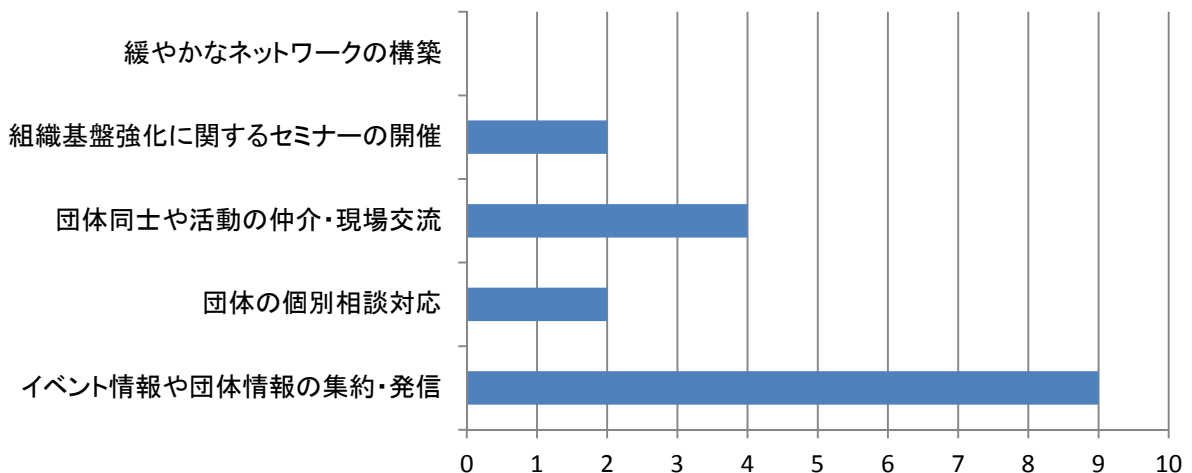
「大変素晴らしかった」・・・1名、「よかった」・・・7名、「ふつう」・・・3名、無記入・・・5名

- いろんなお話が聞けてよかったです。
- 話し合いという簡単かつ環境技術等といううれしさ。
- (ワークショップの感想とおなじ)当協会のPRをするとともに、他の団体の活動内容を聞くことができた。時間がもう少しあればよかった。
- 学生さんや個人にもお出会い出来、話し合いがなごやかに進みました。
- 多くの方とふれあえたことは良かったが、目まぐるしくて賛成できない。
- 会場が少し狭く、隣のブースの声がよく聞こえて、自分のグループの声が聞こえにくかった。
- 各団体の細かい情報を聞くことができた。

今後の情報交流会へのご要望、ご意見などご自由にお書きください。

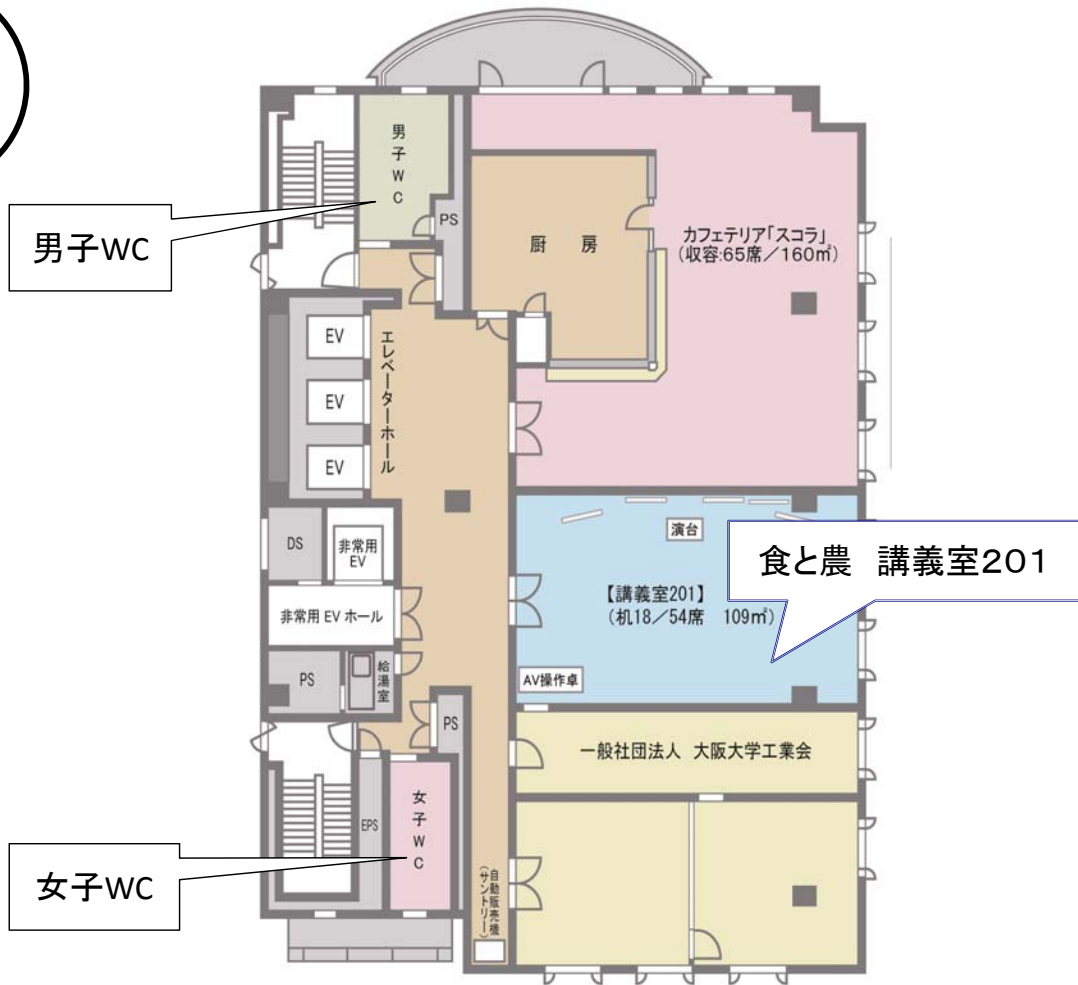
- 以前 枚方会場へ参加させて戴き、ご縁を得てお付き合い戴いている方がいます。
- 自分の活動領域でのご縁だけでなく、他領域の活動内容、お人に知り合える事がありがたいと思います。この方向性は変えないで戴きたいと思ひます。
- もう少し時間的な余裕がほしい、事例発表の時間が短すぎるのでは？発表者数をもう少し少なくしてもいいのでは？
- とってもいい会だったのが、最後は(選挙活動)汚点だったと思ひます。次回参加する気持ちがなえてしまいました。
- 次回もよろしくお願ひいたします。
- 最初のあいさつや、集会説明は一斉放送できないか。聞きにくかった。
- お互いに知り合うことを支援することに特化されていた。そこが良かった。資料集の時間割にページ数を記載してほしかった。

今後のエコネット近畿に期待することを教えてください。

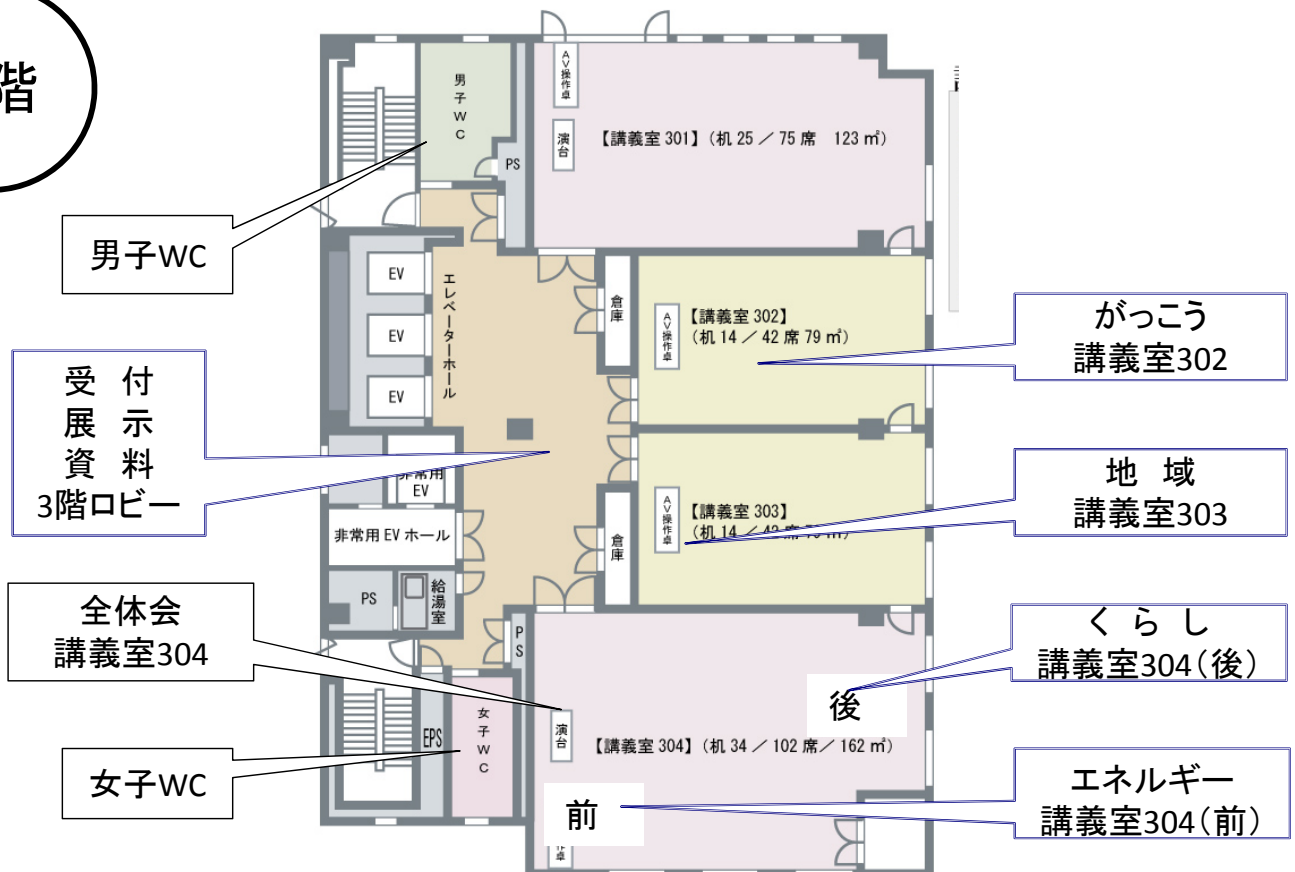



大阪大学中之島センター 会場案内図

2階



3階





NPO法人エコネット近畿

(正式名称: 特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

住所: 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14天ニビル4F

TEL: 06-6881-1133

FAX: 06-6949-8288

E-mail: jimukyoku@econetkinki.org

URL: <http://econetkinki.org>